

料金別納郵便



やちごしせき

土師窯 八児紫石 春の新作展

令和4年4月4日(月)~10日(日) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時(最終日10日は午後5時まで)

作家在廊日：会期中、全日在廊予定

陶歴 昭和38年 福岡県嘉穂郡桂川町土師に土師窯初代 勝の長男として生まれる
昭和57年 加藤鉢氏(愛知県無形文化財保持者)に師事
昭和61年 第18回 日展にて初入選(以後19回入選)
昭和63年 郷里の福岡に戻り、土師窯にて作陶を始める
以後、13代 中里太郎右衛門氏に造形、釉薬等の指導を受ける
平成3年 第47回 福岡県展 県知事賞(1席)
平成10年 第2回 アジア工芸展 文部大臣賞
平成22年 15代 大徳寺管長 高田明浦 老師に陶号 紫石を拝受
平成23年 割竹型連房式登り窯を築窯

令和三年も押し迫った寒い師走のある日、久々に九州の地に降り立ちました。頬をさす風が東京よりも冷たく感じます。福岡空港から東八車を走らせる事、小一時間。笑顔を絶やさぬ八児紫石さんご夫妻に初めてお目にかかりました。

八児さんは、唐津焼の作品を福岡県の土師で懸命に作っておられる陶工です。朝鮮唐津や斑唐津を十八番とする作品は、唐津焼の伝統を感じる一方、清新な造形や葉掛けに、唐津焼に新風を吹き込もうと挑む想いも感じました。作陶のかたわら、茶の湯の稽古にも勤しみ、茶の道を真っ直ぐに歩むからこそ、道具の用もよくご存知で、その作品も使い勝手が良いです。

自宅兼工房には、素敵なギャラリーや茶室もあり、手入れの行き届いた庭木と、敷き詰められた白砂利の美しさに感嘆しました。お薄を一服頂戴しながら、作陶に対する情熱や茶の湯についてなど、いろいろなお話を伺いました。土師窯での昼下がりの時間がゆとりと過ぎていきます…。さて、弊廊で初めてとなる本展では、茶陶を中心に80点を出品します。春の新作展どうぞご覧頂ければ幸いです。

店主 安田尚史

柿屋ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

公式Instagram



160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com
<https://www.kakiden.com/gallery/>



コロナ禍の影響で、会期と作家在廊日等の変更や、オンライン展示のみの可能性もございます。
お手間で恐縮ですが、弊廊ホームページや公式SNSにて、最新情報をご確認頂ければ助かります。

